

日本原子力学会 第 153 回倫理委員会
議事録

1. 日 時 : 2025 年 12 月 8 日 (月) 14:30~16:30
2. 場 所 : 原子力学会事務局会議室+Zoom (ハイブリッド) ※ : Zoom 参加
3. 出席者 : 大場委員長※、沖田副委員長※、神谷幹事、浅原委員※、伊藤委員※、大久保委員、
佐藤委員、芝原委員、出町委員※、中村委員※、福家委員、藤田委員、
吉永委員※ (委員 17 名中 13 名出席)

4. 資 料 :

- 倫 153-1 前回議事録 (案)
- 倫 153-2-1 倫理委員会活動計画
- 倫 153-2-2 倫理委員会役割分担表
- 倫 153-3 (欠番)
- 倫 153-4 2025 年度倫理研究会の企画案
- 倫 153-5-1 2026 年春の年会企画セッションに係る企画・準備について
- 倫 153-5-2 企画セッション提案書
- 倫 153-5-3 企画セッション提案書最終版フォーマット

5. 議事概要 :

(1) 前回議事録について

神谷幹事から資料 153-1 に基づき説明があり、特にコメントはなく、了承された。

なお、大場委員長から、第 4 回理事会 (11 月 4 日開催) で、理事会として以下の確認がなされたとの報告があった。

- ・学会ホームページに掲載されている倫理規程が理事会で承認された内容と異なっていることについて、5 月の理事会承認版に修正する (倫理委員会ホームページおよび学会誌 11 月号に掲載されたものについては問題ない)。
- ・倫理規程は、他の会務運営を目的とした規則とは性質が異なるため、その重要性を踏まえ、改定に関する理事会での審議は、独立した議事として取り扱うものとする。

(2) 活動計画および役割分担について

沖田副委員長から資料 153-2-1 および 153-2-2 に基づき説明があった。主な議論等は以下のとおり。

- ・ミニ講演会に関して、本日の委員会では佐藤委員 (前特別委員) をお願いしているが、次回 2 月以降については、理事の任期の 2 年目なのか等も踏まえ、溝上理事委員、村田理事委員、小崎特別委員および瓜谷特別委員と個別に調整していくこととする。

(3) 2025 年度倫理研究会について (主担当 : 芝原委員、副担当 : 中野委員)

芝原委員から、資料 153-4 に基づき、前回から更新した企画案について説明があった。主な議

論等は以下のとおり。

- ・品質保証研究会による品質コンプライアンス案件の未然防止に係る検討成果について事前に共有いただければ、倫理委員会側としても、倫理規程との関連や研究会当日の討議のテーマを検討していくことができる。
- ・当日の進め方として、倫理委員会側からのプレゼンもあった方がよい。
- ・開催日程については、来年2月中旬～下旬で調整する。

(4) 2026年春の年会企画セッションについて（主担当：大久保委員、副担当：藤田委員）

大久保委員から、資料153-5-1～153-5-3に基づき説明があった。主な議論は以下のとおり。

- ・テーマは「東電福島第一原発事故から15年の節目で考える倫理的な行動～組織文化の醸成、安全性向上の取組み等～」とする。
- ・講演者は大場委員長と、開催地が熊本であることを踏まえ、九州電力殿に依頼し、快く了解いただいた。
- ・日程は、3/11か3/12希望で学会事務局連絡済み。

なお、大場委員長の講演内容を検討していくこととの関連で、1F事故から15年を迎えるに当たっての各委員の思い等について自由討議を行った。

(5) ミニ講演会

佐藤委員から「原子力の現場経験を通じた私の疑問と悩み」と題してプレゼンいただき、講演内容に関わる自由討議を行った。

6. 次回：来年2月頃の開催とし、別途調整することとした。

以上